

大台ヶ原自然再生 10周年記念

シンポジウム

8/24
NUNS
2014

大台ヶ原に苔むす自然は
再生できるのか



奈良教育大学・大講義室 (L4)

入場無料 (先着 140 名まで)

2014 年 8 月 24 日 (日) 14:00 ~ 16:30

お問い合わせ

TEL:0746-34-2202 FAX:0746-34-2204

E-mail: RO-YOSHINO@env.go.jp

環境省近畿地方環境事務所
吉野自然保護官事務所

●報告

『大台ヶ原自然再生推進計画 2014 の策定』

環境省近畿地方環境事務所

●基調講演

『自然再生 10 年の取り組みの総括を目指して』

村上 興正 元京都大学理学研究科講師

●パネルディスカッション

『大台ヶ原の 100 年後の森を考える』

主催: 環境省近畿地方環境事務所 後援: 奈良教育大学

大台ヶ原に苔むす自然は再生できるのか

大台ヶ原自然再生 10周年記念シンポジウム

会場：奈良教育大学・大講義室（L4）

時間：8月24日（日）14:00～16:30

入場無料（先着140名）

プログラム

○開会挨拶

近畿地方環境事務所長

○報告

『大台ヶ原自然再生推進計画 2014 の策定』

近畿地方環境事務所

○基調講演

『自然再生 10年の取り組みの総括を目指して』

村上 興正

元京都大学理学研究科 講師

○パネルディスカッション

『大台ヶ原の100年後の森を考える』

司会：

田村 省二

近畿地方環境事務所 統括自然保護企画官

パネラー：

遠藤 学

上北山村建設産業課 主幹

田村 義彦

自然を返せ！関西市民連合

鳥居 春己

奈良教育大学自然環境教育センター特任教授

福嶋 啓一

ワーク21 上北山 会長

松井 淳

奈良教育大学生物学教室 教授

村上 興正

（同上）

横田 岳人

龍谷大学理工学部 准教授

（50音順敬称略）

大台ヶ原は、奈良、三重県境に位置する台高山系に属し、標高1,300～1,695m、非火山性の隆起準平原を核とした広さ約700haの地域です。

年間3,500mm以上の降水量を記録する日本有数の多雨地帯であり、西日本最大級のブナ林やほぼ南限であるトウヒ林が存在するなど、豊かな野生動植物からなる生態系が成立しています。近畿地方ではわずかになった全国的にも貴重な原生的自然が残されており、吉野熊野国立公園および国指定大台山系鳥獣保護区に指定されています。



トウヒ



ウラジロモミ



大蛇嶺からの風景



ニホンジカ



オオダイカハラ



正木峠

自然再生推進計画とは

大台ヶ原では昭和30年代に大型台風の影響により亜高山性針葉樹林で大量の木が倒れたため、林内に光が入り込み、急速にミヤコザサが増えてきました。周辺地域でも森林の伐採に伴い、下層の植物が一時的に増加し、それらを餌にしているニホンジカの個体数も増加。増えたシカが大台ヶ原にもやってきました。

大台ヶ原で増加したシカは、ミヤコザサを主食としている他にも森林の後継樹を食べ、成木の樹皮を剥いてしまうなど、森林生態系に様々な影響を与えていると考えられます。

また、昭和30年代のドライブウェイの開通以来、利用者による影響も示唆されています。現在ではこのような人為を含む複合的な要因により、森林の衰退が進み続けていると考えられます。この状況を改善するため、環境省では学識経験者等の意見を聞きながら、大台ヶ原自然再生推進計画を策定し、大台ヶ原の自然再生に取り組んでいます。

会場のご案内

●〒630-8528 奈良市高畑町

●近鉄奈良駅・JR奈良駅より

市内循環バス（約10分）で高畑町（奈良教育大学）下車



近鉄奈良駅・JR奈良駅近郊地図



大学構内地図

お問い合わせ先

TEL: 0746-34-2202 FAX: 0746-34-2204

E-mail: RO-YOSHINO@env.go.jp

環境省近畿地方環境事務所

吉野自然保護官事務所

主催：環境省近畿地方環境事務所

後援：奈良教育大学